

JANOG29 in 和歌山

IPv4アドレス移転の実際

さくらインターネット(株)

研究所 大久保 修一

<ohkubo@sakura.ad.jp>

IPv4アドレスの在庫がなくなりました。。

セッションの背景

- 以前よりIPv4アドレス枯渇後の世界について議論されてきました。
 - インターネットはIPv6に移行するのか？IPv4は残り続けるのか？
 - IPv4アドレスはどのように取引されるのか？取引市場ができるのか？値段は付くのか？
 - 買ってきたアドレスはどのように経理処理をするのか？
 - 裏取引は？台帳の一貫性は保たれるのか？
 - インターネットの経路数増加に影響は？
 - などなど・・・

参考：データセンターのIPv4枯渇対策

対策
1

IPv4アドレスの確保

対策
2

プロトコルトランスレーション
サービスの提供

対策
3

バックボーンネットワークと
サービスのIPv6対応

今後も引き続きIPv4アドレスは必要！

IPv4アドレスの確保手段(一例)

分類	手段
既存ネットワークからの回収	既存セグメントのシュリンク
	バックボーンアドレスをプライベート化
	フレットツプールアドレスをプライベート化
外部からの取得	レジストリからの割り振り
	IPv4アドレス移転
	上位ISPからの割り当て
	企業買収

セッションの目的

- 2011年8月よりJPNICでも移転制度が開始され、およそ半年が経過した現在、移転事例もいくつか出てきました。
- 参考：
<http://www.nic.ad.jp/ja/ip/ipv4transfer-log.html>
- アドレス移転の現状を総括し、一事業者の移転事例の紹介を行います。

発表者紹介



JPNIC川端さん

JPNICにおけるアドレス移転の状況、
ポリシーの動向について説明いただきます。



さくらインターネット 田中社長

さくらインターネットにおけるアドレス移転の
事例について紹介いたします。